

水産物の市況について(平成31年4月及び令和元年5月)

—東京都中央卸売市場における平成31年4月(平成31年3月21日～平成31年4月20日集計)の市況と、
令和元年5月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成31年4月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、かなり増加したものの、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、供給量が減少した魚種も多く、前月並みに推移しました。

II 令和元年5月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は、前月よりやや増加すると見込まれるものの、大型魚の水揚げが引き続き少ないことから、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は、横ばいと見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は、横ばいと見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

生鮮物の入荷量は、北陸の水揚げが始まることから増加すると見込まれ、卸売価格は、小型主体の販売であることからやや弱含むと見込まれます。冷凍物の入荷量は、横ばいと見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は、やや増加すると見込まれ、卸売価格は、やや弱含むと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は、生鮮品の水揚げが始まったことにより前月よりやや減少すると見込まれるものの、生鮮品の入荷量が前年同期よりも少ないことから冷凍品の価格への影響は少なく、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は、前月より増加が見込まれるものの、例年の同期と比べ少ないことから、卸売価格は、やや弱含みに留まると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	4月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
31年	36	1,088	29	1,095	32	1,098
前年	38	1,045	33	1,069	36	1,047

注1: 入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

注2: 入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	4月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	373	120	137	118
さけ・ます(平均)	1,073	101	107	121
(ぎんざけ塩蔵品)	1,075	99	107	120
(あきさけ塩蔵品)	786	99	92	143
(ときさけ塩蔵品)	1,300	123	122	135
(べにざけ塩蔵品)	1,456	104	113	141
(さけ類冷凍品)	1,021	99	106	118
さば(生鮮品)	850	98	128	100
するめいか(平均)	1,017	116	119	160
(生鮮品)	1,103	125	125	144
(冷凍品)	882	101	112	160
あじ(生鮮品)	474	75	88	78
まぐろ(冷凍品)	1,561	107	101	107
(めばち冷凍品)	1,072	100	95	103
(きはだ冷凍品)	991	107	100	108
(くろまぐろ冷凍品)	2,962	90	92	83
(みなみまぐろ冷凍品)	1,915	99	93	90
かつお(生鮮品)	856	109	124	108

注1: 品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2: 4月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは平成26年~30年の加重平均値。

注3: さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4: さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5: まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先: 水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 北川、長谷川、大和田

直通 03-3591-5612